

京都教育センター公開研究会

主催：京都教育センター学力・教育課程研究会

新学習指導要領批判 連続学習会 [第3回]

今春に告示された新学習指導要領は、改悪された教育基本法や教育振興計画基本法などを背景に、現行以上の「拘束力」をもつことが懸念されます。

とりわけその「目玉」である道德教育をめぐっては、各教科・領域の全てを「徳目」で覆いつくす「学校教育全体の徳育化」を打ち出し、その徹底を図るための「道德教育推進教師」の配置を目論んでいます。また、実技をともなう教科の時間数は減らされたままで、「中学校選択」の廃止や「総合的な学習の時間」の削減で、制作や実技にかける時間が大幅に抑制されようとしています。

どなたでも参加できます。(参加費無料)

改訂の「目玉」：道德教育と 実技教科、「総合」はどうなるのか！

11月29日(土) 13:30 教文センター202

○講演「新学習指導要領と道德教育の新段階」

井ノ口淳三氏 (追手門学院大学教授)

○報告①「図工・美術教育はどうなるのか」 上中良子氏 (京都橋大学教授)

②「選択廃止で技術科教育はどうなるのか」 大石祐平氏 (市立桃山中教諭)

・ 討論

・ まとめ/閉会 野中一也氏 (教育センター代表)

〔ご案内〕 **第39回京都教育センター研究集会**

テーマ (案)「今日の情勢、子どもの実態を直視し、学校・地域は
何をなすべきか」

1日目 1月24日(土) 教育文化センター全館

10:00～[プレ集会]「1950年代の教育を検証し今を考える」山本正行氏(元旭丘闘争原告)

13:00～[講演]「競争社会に向き合う自己肯定感」高垣忠一郎氏(立命館大学教授)

15:00～[パネル討論]「子どもの貧困」を考える パネラー未定

2日目 1月25日(日) 10:00～16:00 分科会 (センター8つの研究会による)

